

俳ソサエティ「井の頭公園吟行」結果と寸評 (2023-10-27)

番号	作 品	作者	得 点			寸 評
			天	選	点	
1	神田川ここに始まる秋思かな	明陽		輪院	1	取ってつけたような「秋思」？
2	ひよどりの群れ鳴き集い何話す	恵寿			0	惜しむらくはアピール力に乏しい。
3	彷徨し熊には熊の秋思あり	きみ女		井 静	1	披講直後に爆笑。お説ごもっともとも言える。
4	秋駆け足予報の云ふままふとん干し	井 静			0	最近の天気予報は「いらぬお節介」という不満も。
5	伏しまろび寝むれぬ夜半の秋思かな	荒人		双 掌	1	「輾転反側」する様が伝わる。
6	冬近し貧を恥じつゝ、銭洗ふ	双 掌		申山・荒人	2	「5円と1円硬貨しかありません」と詫びながらの銭洗い。
7	秋風に蒲の穂ゆるる葉におくれ	申山			0	「葉におくれ」が難解とするのは「レベルが低い」と一喝も。
8	一条の日輪のさすやぶみようが	輪院			0	「隠れ天賞」の評価も。ヤブミョウガを知る人少なかりやう。
9	湧水に黄葉ひとひら舟となる	明陽	申・双・み	きみ女	10	「黄葉ひとひら」の響き最高。舟となって水源地を流れるか。
10	虫時雨一人夜道の伴なるか	恵寿			0	吟行との平仄があわない。
11	落葉揺れ人待ち顔の舟着き場	みほ女		きみ女	1	「落葉揺れ」はイメージし難い状況。
12	色変へぬ松を背に立つ弁天堂	きみ女	井 静	みほ女	4	松の緑と弁天堂の朱色のコントラストをアピール
13	木漏れ陽や手書きの歌碑の小さき秋	双 掌	輪院・きみ女	荒・井・申	9	実物を目にした句友には共感されよう。
14	“東洋学”机上に積んで秋の果て	井 静		輪院・明陽	2	作品そのものがすでに作者を暗示している。
15	天高し緋鯉真鯉の口や口	みほ女			0	天と鯉との取り合わせに違和感なきにしもあらず。
16	秋光きらり魚を捕らへし鶯の嘴	申山			0	「秋光きらり」は「秋きらり」と語調を整えるが良し。
17	満月やビルのあいだにお生まれり	恵寿			0	吟行句としては…違和感無きにしも非ず。
18	井の頭いのちの水に紅葉散る	みほ女			0	「いのちの水」の中七が作者を暗示している
19	公園の子らの声去り秋惜しむ	輪院		恵 寿	1	「秋惜しむ」の季語が生きていない恨みあり。
20	秋遠足子らはノートに何を書く	荒人			0	お描いの制服の児童が多数で遠足。印象強い光景。
21	ロック魔王も鼻も逆けり秋思かな	井 静		明陽・恵寿	2	「ロック魔王」は初耳とする向きもありそう。
22	秋思ありキャップ開けねば茶も飲めず	輪院			0	ごもっともなれど、「秋思」とは無縁かなあ。
23	傘寿過ぎわれにも咲けや返り花	双 掌	明 陽		3	吟行らしい「実景句」。枯葉に混じる二輪ほどの桜の愛おしき。
24	足をふる乳母車の嬰秋日濃し	申山			0	「この句を理解できないのは鈍感」との仰せだが…。
25	色鳥や池に響くは児らの声	きみ女			0	上五の「色鳥」が浮き上がっている。
26	素もぐりの神出鬼没小鴨かな	荒人			0	小鴨は水潜りは得手でない。むしろ「鳩」（カイツブリ）か？
27	群青の空に色付く薄紅葉	明陽	荒人・恵寿	みほ女・双 掌	8	類句多そうだが、「彩り豊か」で魅力的。

【天賞】 櫻川明陽 19点
【湧水に黄葉ひとひら舟となる】 10点
【群青の空に色付く薄紅葉】 8点
【神田川ここに始まる秋思かな】 1点

【地賞】 黒柳双掌 14点
【木漏れ陽や手書きの歌碑の小さき秋】 9点
【傘寿過ぎわれにも咲けや返り花】 3点
【冬近し貧を恥じつゝ銭洗ふ】 2点

【人賞】 安倍きみ女 5点
【色変へぬ松を背に立つ弁天堂】 4点
【彷徨し熊には熊の秋思あり】 1点

【次点】 毛里井静 4点
【“東洋学”机上に積んで秋の果て】 2点
【ロック魔王も昴も遊けり秋思かな】 2点

【総評】

今回はコロナ禍以降、3年ぶりの吟行。会員諸兄姉の強いご希望で実現した吟行であった。そして——どなたにもご同意いただけると思いますが——「顔つき合わせての甲論乙駁こそ句会の醍醐味である」と再確認した次第です。
吟行場所の「井の頭公園」。当方は初訪問でしたが、ゆったりした気持ちで散策するには絶好の場所でした。湖面に遊ぶ水鳥、湖に面した弁天堂、風に揺らぐ蒲の穂、ほんの数輪の桜の狂い咲き。あれこれと豊富な句題を提供してくれました。
その意味でも「秋思」などという兼題を設定したのは——気遣いのつもりではありましたが——余計なお節介と反省しています。
お蔭さまで、存分に熱論を交え、時には内外情勢にも触れながらの2時間余が短く感じられる程でした。かくして、今後は秋には吟行、他の句会はSkypeでという合意が成り立ちました。改めてご参加の皆さまに感謝申しあげる次第です。
最後に、次回は来年1月20日(土)午後2時～の「新春Skype句会」です【双掌】